天神会会報 梅鉢

第七号

平成２０年５月吉日

天神会編集委員

大場浩明
犬居千寿　中村康夫
平野之啓　高木雅章

今年も見事に実をつけました

天神会会長御挨拶

平成二十年度を迎え一言ご挨拶申し上げます。

大役を今年で二期四年目となり、最終年として大過なく会を運営出切ればと思います。天神会も発足以来八年目に入ろうとしています。発足当初植林した梅や、三年から五年位に成る梅まで今年は多くの実を付けています。昨年は収穫した梅を六キロ程漬けましたが、今年は三〇キロから四〇キロ位にはなるのではないかと思います。（今年は成り年？）

天神社や梅園に地元の一宮幼稚園児が、年に数回程ハイキングに見えていて、野草や花を楽しんでもらっているようです。梅も沢山あり木の低い所は幼稚園児にもぎ取り体験なども紹介して見たいものです。子供達が四季折々楽しめる天神社境内となるよう、又引き続き公園整備を中心に活動を進めたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願いし、ご挨拶と致します。

天神会会長　大場　浩明

天神社宮司御挨拶

全国天満宮の総本宮であります大宰府天満宮に「梅枝餅」（うめがえもち）と呼ばれる名物があります。そのお餅には、アンが入っていて焼いてありとても香ばしく、懐かしい味がします。この梅枝餅の由来は、菅原道真公が九州大宰府に配流されてから食べ物にも事欠く毎日を送られていた時、土地の老婆がお餅を作りこのお餅に色を添える為、梅の一枝を添えて出したのが始まりで名前の由来でもあるようです。当天神社では毎月二十五日に天神祭を斎行し、食べ物に事欠く事のないよう、季節に応じ充分にお供えをし、菅公を慰め感謝申し上げております。皆様も時に触れお供えしていただければ　大願成就まちがいなし！です。終わりに、いつもご協力いただきありがとうございます。

天神社総代御挨

総代を勤めさせて頂き四年が経ちました。何事にも心使いが足りませんでしたが、皆様の御陰をもちまして何とか勤め終わる事が出来ました。御協力有難うございました。総代を勤める中で、今日の社会や政治が経済ばかりを強調していても、日本には礼儀や所作を大切にする文化が多い事を今更に思い出し何かうれしく感じました。そして「違う宗教を持つ多くの人々が協力して一つの神社を盛揚げようとする姿は、宗教戦争をしている世界の人々が見れば美ましがるだろうな」と思いました。

代表　小平　史伸

平成十九年度に行った主な行事な

梅園整備及び神社保全事業

会員の奉仕により梅園整備は勿論の事、簡易トイレ・看板も設置されました。

今年も年末年始イルミネーションが設置されました。

天神会総会

輪くぐり神事

夏越し・年越しの大祓い式

七夕祭

節分祭

芋酒会　本年も盛大に開催されました。

今年度にて退任の総代

後継者も誕生しました。